

sumaiweb.jp

<http://www.sumaiweb.jp/komuten/>

「sumaiweb.jp」にて、本誌に掲載した物件の全データを公開中。

取材のこぼれ話も満載。さあ、今すぐ検索！

sumaiweb

検索

「予想以上に風通しがいいのに驚きました。夏は扇風機だけで過ごせて、冬でも暖房は日が差し込んで暖かいくらいなんです」と池田さん。南側には高い建物が建っており、視線をのびせば遠く連なる山々が望める立地が気に入っているという。



白

とこげ茶の空間にモノトーンの家具が馴染んだ、落ち着いた感じのある住まい。

…この家に住んでいるのは、神奈川県湘南地域で不動産業に携わる池田晃一さん。住宅に関して、いわばプロの目を持つ池田さんが、「ワイズ」に家づくりを託そうと決めたのは、知人宅の建築現場をたまたま見に行ったのがきっかけだったそう。 「ゴミひとつなくキレイに片付けられているのを見て、この会社は信頼できる」と思いました。というのも、父が生前、大工をやっていた、現場を整頓しておくことの大切さを常日頃聞いてきたからなんです（池田さん）

池田さんは、どの施工例も建主の趣味がよくくみ取られているのを見て「好みのモダンな家を実現できる」と確信。早速、ワイズの社長であり設計も手掛ける山本康彦さんに、返すの住宅街にある土地を一緒に見てもらい、家づくりがスタートした。

「希望したことといえば、外観に関して、『既成を築ける家』『母が来たときに休める和室』くらいです。すでに信頼関係があったので、プロにお任せしたほうが良いかな」と池田さん。

敷地は、昔ながらの細い道路に面しており、大型車が通れないため基礎などに使うコンクリートを隣地を通して配管を回したり、行政への申請に手間がかかったそうだが、細かい配慮が生き届いた仕事ぶりに感心したという。

風を通し日差しを取り込む。 自然を感じながら過ごせる 家具が映えるモダンな住まい



↑
Site Check

南側から十分な採光が得られる28坪の敷地に対して、山本さんが提案したのは、木造3階建ての建物だ。「暮らし方に対応できるように、敷地面積を生かして目一杯ボリュームを確保しています。1階は水回りと和室。日当たりがよくて気持ちよく過ごせる2階に広めのリビングを配し、3階は個室」というプランです」

（山本さん）

なかでも池田さんが気に入っているのは、無垢パイン材の床板。これは、大工職人が良質な乾燥材だけを選んで加工場へと運び、さらに時間をかけて乾燥させて含水率を低くしたものだ。厚さ40mmある木材は、状態や季節をみながら丁寧に加工されているため、割れや反りが起きにくい。「夏は裸足でベタベタ歩くのが心地いいし、冬もヒヤリしないんです。あと、空間に合う家具がひとつずつ増えていくのはうれしかったですね。ダイニングの椅子に座ると、壁で隣家との視線は遮られつつ、ちょうど面々の稜線が見えて癒されます」と池田さん。

夏はリゼンダから近隣の花火が眺められ、「この家に住んで、ますます湘南が好きになりました」と語ってくれた。

(上2点)ガルバリウム鋼板で覆われた
ハコからせり出した、モルタル左官仕
上げのバルコニーが外観のアクセント
に。「このガルバリウム鋼板は工場な
どに使われるもので、内側にウレタン
が張ってあり断熱効果が高いです」
と山本さん。漆喰のような質感のモル
タルは防水効果があり、海側からの
塩分を含んだ雨風があたっても汚れが
つきにくくメンテナンスの手間が省け
る(下)雨が入り込むのを防ぐため、
和室にはオリジナルのシャッターを



インテリアは少しずつ整えていきたい。
暮らしを楽しむ——そんな喜びが
日々増えていくように感じます



インテリアに調和した造作キッチン。ステンレス
製なので衛生的で、衝撃に強くタフに使える。「こ
の家に来てから、料理に目覚めました(笑)。た
まに母が来るんですが、対面式で気持ちよくて使
いやすいと好評でした」。背面には市販の収納キャ
ビネットを合わせて、収納量をアップさせている



(上) 3階へは、リビングを介してつなげる動線でスペースを有効活用 (下) シルエットの美しいダイニングセットとインテリアが溶け込むように馴染む。収納の扉とコーディネートされた床板は、こげ茶色の「リボス」を3度塗って仕上げてある



●工務店からひらいて

私たちがおもな活動範囲として
いる湘南地区は、温暖な気候に恵
まれ、海や山など自然も身近なこ
とから、人気の高い住宅地です。そ
れだけに土地の取得に予算が割か
れますが、当社にいらつしやるお
客さまは、限られた予算でも機能
やデザインへの要求が高い傾向が
あります。

そのため当社では、いわゆる「基
本仕様」を設けず、お客さまの必要
望を生かしたプランをもとに、構

造・工法・建材・設備に至るまで、
毎回ゼロの状態から内容を組み立
てていきます。

「その家に住む方に本当に合うも
のを」をモットーに取り組んでき
まして、オリジナルの仕様が年々
増えてきました。今では、キッチン
をはじめ、階段や外壁の仕上げな
ど、当社オリジナルのデザインや
部材が多数あります。

理想としておりますのは、「デザ
イン性と機能性を併せ持つ、オン

リーワン住宅」です。担当者が設
計から完成まで、一貫してお付き
合いたいします。

また海の近くでは、台風や潮風
による塩害対策も必要です。そう
した自然に対する耐久性や温熱環
境の性能面。また耐震面での安全
性も当然のこととしてご提案し、
メンテナンスは期間を設けず迅速
に対応いたします。

(代表・山本康彦)

この建物は「sunaiweb.jp」に

Site Check →

(上) トップライトが、階段ホールを明るく照らす。トップ
ライトは開閉できて眺望を楽しめるうえ、屋上のメンテ
ナンスにも便利。正面に見えるドアの向こうが、池田さ
んお気に入りの仕事部屋(右下)和室は予備室で、おも
にお母さまが泊まりがけで訪れるときに使用している。
奥にはミニキッチンも(左下)光が降り注ぐ寝室は、ゆ
とりの13.5畳! ベッド横の壁が抜けるようになってく
てあり、2部屋に分けることもできる





(右)脱衣所を兼ねた洗面所は、大きめの窓があり、湿気がこもりにくい。シンプルな洗面台は、下部をフリーに使えるのもいい (左)洗面カウンターをしつらえ、ゆったりとした1階のトイレ



「デザインだけでなく、実用面にも細かく気を配っています」と話す山本さん。池田さん宅も収納が各所に豊富にしつらえてあり、片付いた状態を保ちやすいという。玄関ホールにも収納が充実

休日にボートと外を眺めていると
ホント気持ちよくて…。じんわりと
「いい家だな」って思うんです

二面の窓から光がまんべんなく回り、景色が楽しめる仕事部屋は、池田さん自慢のスペース。「日当たりがいいから人知れず日焼けもできますよ(笑)」。水槽で飼っているカメものんびり甲羅干し



COMPANY PROFILE

社 名 / **ワイズ**
代 表 者 / 山本康彦
住 所 / 〒253-0021 神奈川県茅ヶ崎市浜竹3-4-64
☎0467-88-3903
<http://www.ys-no1.co.jp/>
ys-no1@ys-no1.co.jp
年間建築棟数 / 新築20棟
社 員 数 / 8名
平均坪単価 / 52.5万円
主 な 工 法 / 木造軸組工法
建 築 地 域 / 湘南地区を中心に神奈川県全域
設 立 / 1993年
定 休 日 / 水曜日、第1・3火曜日

sumaiweb.jp

<http://www.sumaiweb.jp/komuten/>

sumaiweb

検索



この物件の情報は、「sumaiweb.jp」に公開しています。